アヘン戦争と三角貿易

イギリス・インド・清を結んだ物と銀の流れは、どのように戦争につながったか



矢印は物の流れを示す模式（実際の航路ではない）。点線は銀。

流れの変化

それまで

イギリスは清から茶を大量に
買い、銀で支払っていた。
→ イギリスの銀が減る

三角貿易（19世紀前半）

・イギリスの綿織物をインドへ
・インドで作らせたアヘンを清へ
・清の茶をイギリスへ
→ 清からは銀が流れ出し、
アヘンを吸う害も広がる

**清が、アヘンの輸入を
厳しく取り締まる。**

1839年
清がアヘンを取り締まり
持ちこまれたアヘンを処分

→

1840〜42年
アヘン戦争
イギリスが勝つ

→

1842年 南京条約
清は香港をゆずり、
5つの港を開く

→

日本への影響
清の敗戦が伝わり、幕府は
外国船への対応をやわらげる

国の名前は当時のもの。今の国境は描いていない。